

小学校コミュニケーション活動（スキットの取組みの例）

1 「スキット」とは

英語で自己表現をねらうものであり、物語や日常のやりとりを劇化して表現する。自分たちで考えて創り出すことができること、使える英語が増えていることを考えると高学年向きである。全部を英語にする必要はなく、日本語が混じっていてもよい。

文部科学省「小学校英語活動実践の手引き」2001年より

2 外国語活動におけるスキットの効果

- (1) 実生活に近い場面で、英語を生きた言葉として児童に体験させることができる。
- (2) 創造的な表現活動の中で、児童のコミュニケーションへの積極性と実践的なコミュニケーション能力の育成を図ることができる。
- (3) 文化・風習やジェスチャー等の学習を伴うため、異文化理解の学習をすることができる。
- (4) ペアやグループ活動を通して児童の個性が発揮され、参加意識を高めることができる。
- (5) スキットを演じる中で、学習した英語を使えたという成就感をもたせることができる。
- (6) スキット創作等の共同作業を通して、協調性や感受性など児童の情緒面の発達を促すことができる。

3 スキット指導上の留意点

- (1) 児童の発達段階に応じたトピックを取り上げ、児童が楽しめるような内容にする。
- (2) 事前に対話に使用される語いや表現の練習を十分に行う。その際、ボイス・コントロールやイントネーション、ジェスチャーや感情を込めた台詞の言い回し等に注意させる。
- (3) A L Tの協力が得られる場合、音声指導や文化の違いの学習ができるように配慮する。
- (4) 小道具や効果音等を効果的に使い、スキットがより楽しくなるように工夫する。
- (5) 発表の際、児童一人一人のよさをなるべく褒めて、やる気を起こすようにする。
- (6) 児童の自己評価や相互評価を取り入れ、活動への更なる意欲の喚起につながるようにする。